昭和医科大学雑誌投稿規定

1. 投稿資格：本会会員に限る．共著者も全員会員であること．ただし，編集委員会から特集，特別寄稿などの執筆を依頼した場合にはこの限りでない．

2. 投稿論文の種類：①総説，論説，展望，図説，資料 ②原著，短報 ③症例報告，臨床報告，研究報告，テクニカルノート，その他を一般投稿として受け付けるほか，編集委員会から特集，特別寄稿，講演，講義などの執筆を依頼する．

3. 原稿の採否：投稿論文の採否は編集委員会において決定する．論文は 2 名以上の編集委員・査読委員（必要に応じて編集委員が適当と認めたものを含める）および編集委員長によって査読され，論文内容の加除訂正を求める．

4. 審査順序：論文の審査は投稿受付順とし，査読は通常 14 日を期限とするが，迅速審査料を支払う場合には，期限を 7 日として査読を行う．ただし，期限の確約は行わない．

5. 掲載順序：論文の掲載を原則として受理された順とするが，著者が通常の掲載料に加え特別掲載料を支払う場合には特別掲載として優先掲載することがある．

6. 論文の内容：原著，短報は他誌に未発表のものに限る．論文はすべて簡潔かつ平易な記述が望ましい．用語，略語，引用文献など論文全体として統一が取れていること．

7. 倫理的配慮：ヒトを対象とした臨床研究は所属施設の倫理委員会（もしくはそれに準ずるもの）の承認を得て行う．ヒト由来の試料を対象とした原著論文（短報を含む）も倫理委員会の承認を得ていることが望まれる．やむを得ず，承認が得られていない原著論文（短報を含む）はヘルシンキ宣言（1964 年採択, 2024 年改訂）を遵守して行ったものであることを必要とし，参加者の人権，安全性，インフォームドコンセントなどに配慮した旨明記する．また，動物実験は「昭和医科大学動物実験実施指針」に基づいて倫理的に行われた旨明記する．

8. 発行日：本誌は年間 6 号とし，偶数月に発行する．

9. 投稿：2020 年 10 月 1 日よりオンライン投稿システム（Editorial Manager）を用いて投稿する．
   投稿サイト：https://www.editorialmanager.com/SUJ/
   初めて投稿する際には，ユーザー情報を登録しアカウントを取得すること．
   投稿受付日は受付番号が付与された日とする．
   なお，Editorial Manager の著者操作マニュアルはシステムよりダウンロードすること．

10. 論文原稿作成上の注意点
    1） 論文は平仮名まじりの口語体和文とする．英文論文は The Showa Medical University Journal の方へ投稿する．
    2） 用紙は A4 を用い，横書，800 字／頁程度, 12 ポイント，行間 1.5（Office Word の設定）を使用する．
    3） 原稿の形式は表紙，抄録（論説，展望，図説，資料，テクニカルノート，その他は自由），本文，文献，表，図の説明，図，英文題名，英文姓名，英文所属，英文の abstract（280 語以内，12 points，ダブルスペース．ただし，論説，展望，図説，資料，テクニカルノート，その他は自由）の順とする．表紙を 1 頁とし，各頁の下中央にページ番号及び左欄外に行番号（Office Word の設定）を入れる．
    4） 表紙に和文題名，所属，著者名，ランニングタイトル（20 字以内），連絡先著者名（責任著者名）および所属をこの順に記す．
    5） キーワードは抄録および英文の abstract の下に 5 個以内を記す．
    6） 本文の項目分けは 1，2，3，……，1），2），3），……，（1），（2），（3），……，a），b），c），……，の順とする．
    7） 用字・用語は日本医学会「医学雑誌編集ガイドライン」を参考とする．医学雑誌編集ガイドライン：http://jams.med.or.jp/guideline/index.html
    一般に略語として意味が通じるもの以外は略語の使用を極力避ける．やむを得ず略語を用いる場合には最初の部に必ずフルスペルを記載する．薬品名は一般名を使用する．動物，植物，細菌などの学名は 2 命名法によってイタリック体で記載する（例：*Homo Sapience*）．

8） 度量衡の単位は原則として C.G.S. 単位を用い，符号のあとに点をつけずに次の例に準ずる．
例：m mm μm nm l ml μl kg g mg μg ng pg mg/dl ppm ℃ Bq Gy sec min hr

9） 原著論文（短報を含む）の体裁（見出し用語と配列）は原則として，下記のように統一する．
（1）抄録は 800 字以内にまとめ，目的，研究方法，結果および結論のポイントがつかめるように書く．
（2）本文は緒言（もしくは，はじめに）の見出しを付けて書き始める．研究目的を明確にするための記述にとどめる．
（3）研究方法，結果，考察，結語（ただし結語はなくても構わない），謝辞，利益相反（conflict of interest）に関する開示の順に書き，これらの見出しには番号を付けない．小見出しに番号を付ける際には 6）の要領で記す．
（4）文献（見出しを付ける．末尾の記載例参照）
a）文献は主要なものに限定し，原著，短報，症例報告などでは原則 30 編以内とする．総説，特別寄稿では原則 50 編以内とする．引用順に配列し，引用箇所の右肩に文献番号 1），2, 3），4–7）のように明示する．
b）原稿に記載する形式は下記の通りとする（末尾記載例参照）．なお，雑誌略名は医学中央雑誌および Index Medicus の略名表による．Ibid. は使用しない．著者が多数の場合には前から 3 名までとし，4 人目より「ほか」あるいは「*et al.*」とする．

10） 表は刷上り 1 頁以内におさまるように作成する．表のタイトルは表の上に記載し，脚注は表の下に記載する．

11） 図の説明（Legends for Figures）は脚注も含め，別紙に記載する．図の中の文字や矢印などは縮小された場合にも読める大きさで，原図に直接，記載する．顕微鏡写真では倍率を脚注に記載する．図表の中の文字，説明は極力，英文で表記する．英文で表記困難な場合，和文による表記も受け付ける．ただし，どちらかに統一するのが望ましい．図表の挿入箇所は本文中に括弧内で Fig. 1，Table 1 もしくは，図 1，表 1 のように記載する．

12） 英文の abstract について，投稿前の校閲を必須とする．投稿時に英文校閲証明書もしくはそれに準ずる書類を提出すること．なお，業務委託による英文校閲は「謝辞」に記載せず，必要であれば「研究方法」に業者名と共に英文校閲がなされたことを記載する．

13） ①総説，論説，展望，図説，資料，③症例報告，臨床報告，研究報告，テクニカルノート，その他，の体裁は自由とするが，項目分け，文献，図表などは原著，短報に準ずること．②原著，短報，③症例報告などは原則として 30,000 字以内（文献と図表を除く），①総説や特別寄稿は原則として 40,000 字以内とする．

14） 著者は，論文の全体的な有用性を高め，論文の内容をより深い理解に重要である場合，補足的資料（Supplementary Materials：電子付録）を添付できる．補足的資料は，別ファイル（図表は PDF ファイル，動画は mp4 ファイルを推奨）として提出する．補足的資料がある場合，「Supplementary Materials」と見出しをつける．補足的資料はオンライン上のみの公開となる．補足的資料は，資料 1 点につき 1 頁として掲載料請求対象に含まれる．

11. **校　　正**：初校，再校は著者が指定期限内に返却する．校正に際し，誤植，ワープロ変換ミス以外の訂正，変更，削除，挿入は避けること．初校の指定箇所に別刷希望部数を明記する．

12. **掲 載 料**（特別掲載料・迅速審査料）：
1）通常，投稿論文の掲載料は刷上り 1 ページ（約 1,900 字・図表手札サイズ 5 枚）10,000 円とする．
2）掲載順を優先する特別掲載は、通常の投稿論文掲載料の 1.5 倍を支払うものとする．
3）別刷り発注については，全額著者が支払うものとする．
4）カラー料金について，電子ジャーナル掲載時の追加料金はない．別刷り発注時は，校正時にカラー料金について見積り額が提示される．
5）掲載料（別刷り料金含む）は雑誌掲載直前に著者へ請求されるので，指定口座に期日までに入金すること．入金が確認でき次第，別刷りを送付する．
6）通常より査読を早く行う迅速審査は，迅速審査料として 50,000 円を支払うものとする．迅速審査料は，掲載料の支払い時に掲載料に加えて支払う．もし，不採択になった場合は，不採択の通知後に迅速審査料を支払う．

13. 著　作　権：1）本誌に掲載された論文，抄録，記事等の著作権は昭和医科大学学士会に帰属する．
2）即時オープンアクセス　対応方針
著者は，本誌に掲載される自身の論文および根拠データの著者最終稿［出版社版］を「機関リポジトリ等の情報基盤」へ掲載することができる．本誌は，出版と同時に機関リポジトリ等から著者最終稿［出版社版］を公開することを著者に対して許容する．

14. 公　　表：本誌に掲載された論文等は電子化して昭和医科大学学術業績リポジトリに登録し，J-STAGE を通じてインターネット上に公表する．

15. 二重投稿の禁止と二次出版
1）二重投稿の定義
(1) 他誌等にすでに公表された論文あるいは投稿・寄稿中の論文と同一内容もしくは極めて類似すると認められる論文を投稿した場合を二重投稿とみなす．この場合，単著・共著を問わない．
(2) 他誌等にすでに公表された論文あるいは投稿・寄稿中の論文における同一データの引用を明記することなく記載して投稿した場合も二重投稿とみなす．
(3) すでに本誌あるいは他誌に公表された論文を他の言語に翻訳して他誌あるいは本誌に投稿した場合も二重投稿とみなす．ただし，3）二次出版に該当する場合はその限りではない．
2）二重投稿への罰則
(1) 論文の本誌受付の際に二重投稿・掲載が判明した場合には，受付拒否処分とする．
(2) 本誌に受付され査読中の論文が二重投稿・掲載であることが判明した場合，受付時にさかのぼって本誌への受付拒否処分とする．
(3) 本誌に掲載された論文が，それより先にすでに本誌あるいは他誌に掲載された論文の二重投稿・掲載であることが判明した場合，後発の本誌掲載論文を取り消し処分とし，その旨を本誌に掲載する．
(4) 本誌にすでに掲載された論文が，その後，他誌に二重投稿・掲載されたことが判明した場合，後発の論文を他誌から撤回するよう著者に求める．
(5) 二重投稿・掲載が判明した場合，その旨を本誌上に公表，著者全員にその旨を厳重注意する．また，その後 3 年間，その筆頭著者名が筆頭・共著者の如何を問わず著者に含まれる論文の本誌への投稿を受け付けない．
3）二次出版について
(1) 本誌あるいは他誌で公表した論文を他の言語に翻訳した論文が，昭和医科大学学士会会員に対し有用であると判断され，以下の条件を満たせば，編集委員会の議を経て二次出版として投稿を許可する．
①外国語（英語）で公表した論文の翻訳論文を，本誌に投稿する場合
a）論文のタイトルは二次出版であることが分かるようにする．（例　翻訳論文：タイトル）
b）表紙に［著者．一次出版論文のタイトル．掲載雑誌名．発行年;巻:最初頁–終頁］の二次出版であることを明記する．
c）外国語雑誌編集長の許諾を得た書類を提出する．
②本誌掲載の論文の外国語（英語）翻訳論文を，外国語（英語）雑誌に投稿する場合
a）編集委員会へ事前通知し，許可を得る．
b）外国語雑誌編集長に本学会編集委員会の許諾を得た旨（付記）の書類を提出する．
c）本誌掲載の一次出版論文を参考文献として引用する．
(2) 二次出版の論文は，一次出版のデータ及び解釈を忠実に反映すること．論旨を変えず，図表及び著者は同一であること．

16. プレプリントサーバーに掲載されている原稿の投稿について
1）学術的に認知されたプレプリントサーバーに掲載されているプレプリント原稿（以下，プレプリント）について本誌へ投稿することを認める．ただし，他誌に投稿していないものに限る．
2）投稿の際には，プレプリントとしてすでに掲載されていることを本誌編集委員長に報告しなければならない．
3）投稿の表紙には，プレプリントの情報（doi）を付記すること．
4）本誌編集委員により査読を受けた原稿，出版のために受理された原稿は，プレプリントサーバーへの掲載を禁じる．

5） 投稿した論文が本誌に掲載された場合，著者はプレプリントサーバーの該当論文の画面に，掲載された doi へのリンクを設定する必要がある．

17. 昭和医科大学雑誌投稿規定の改訂について
改訂は昭和医科大学学士会編集委員会に諮り，承認を得ることとする．

文 献 記 載 例

雑　誌：著者名．表題．雑誌名．出版年;巻:最初頁–最終頁．

1）大多和威行，佐藤啓造，藤城雅也，ほか．血漿中アラントイン/尿酸比からみた霊長類のプリン代謝に関する研究．昭和医会誌．2010;**70**:263–271.

2）Sato K, Kumazawa T, Katsumata Y. On-line high-performance liquid chromatography-fast atom bombardment mass spectrometry in forensic analysis. *J Chromatogr A*. 1994;**674**:127–145.

3）Kito M, Sato K, Nittono S, *et al*. Long-term storage of blood samples as freezing hemolysates with Good's buffer for methemoglobin determination: its application to blood from livestock and from a patient with congenital methemoglobinemia. *Med Biol*. 2013;**157**:in press.

単行本：著者名/編者名．書名．版数．出版地: 出版社; 出版年.

4）Berne RM, Levy MN, eds. Physiology. 3rd ed. St. Louis: Mosby Year Book; 1993.

単行本の一部：著者名．表題．編者名．書名．版数．出版地: 出版社; 出版年. 最初頁–最終頁.

5）佐藤啓造．医師と法律．澤口彰子編．臨床のための法医学．第 6 版．東京: 朝倉書店; 2010. pp174–195.

6）Sato K. Carbon monoxide. In *Suzuki O, Watanabe K, eds. Drugs and poisons in humans: a handbook of practical analysis*. Heidelberg: Springer; 2005. pp91–99.

7）Uchida E, Oguchi K, Kiuchi Y, *et al*. Localization and activity of multiple forms of MAO in the human sys. In *Yasuhara H, Paevez SH, Oguchi K, et al. eds. Monoamine oxidase: basic and clinical aspect*. Utrecht: VSP; 1993. pp137–145.

8）佐藤啓造．フェノチアジン系薬物．広範囲血液・尿化学検査・免疫学的検査：その数値をどう読むか．第 7 版（2）．東京: 日本臨牀社; 2010. pp411–415.

電子文献（電子ジャーナル）：著者名．表題．雑誌名．出版年;巻:最初頁–最終頁（またはウェブページ番号）.

9）Urano-Morisawa E, Takami M, Suzawa T, *et al*. Induction of osteoblastic differentiation of neural crest-derived stem cells from hair follicles. *PLoS One*. 2017;**12**:e0174940.

電子文献（オンラインデータベース）：著者名．表題．オンライン公開年月日．（アクセス年月日）入手先 URL

10）人事院．国家公務員の分限制度について．2006 年 10 月 13 日．（2012 年 1 月 31 日アクセス）http://www.gyoukaku.go.jp/senmon/dai5/siryou3.pdf

昭和医科大学学士会編集部
〒 142–8555　東京都品川区旗の台 1–5–8　昭和医科大学内
TEL：03（3784）8074　FAX：03（3784）7444
Email：j-gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp（雑誌専用アドレス）

（2026 年 8 月 1 日改訂）

「昭和医科大学雑誌を業務や営利目的で複製される方へ」

昭和医科大学学士会では複写複製，転載複製及び AI 利用に係る著作権を，【一般社団法人学術著作権協会】に委託しています．当該利用をご希望の方は，（社）学術著作権協会（https://www.jaacc.org/）が提供している許諾システムを通じて申請をお願い致します．本会会員に該当する方が転載利用の申請をされる場合には，当会事務局に直接お問い合わせください．なお，昭和医科大学学士会会員については，学術目的利用に限り無償で転載利用いただくことが可能です．